

くらしに活かそう3R

3Rとは、**出さない**(Reduce) **くり返し使う**(Reuse) **資源として再生利用**(Recycle) と、皆様既にご承知の通り賢いくらしの大切なキーワードです。でも、わかっているもなかなか難しいこと。私たちは学習会や、不要なものを活かす教室を通して3Rの提案をしています。さあ、あなたも工夫して3Rを生活に取り入れてみませんか？

学習会報告1 ごみを減らすくらし方

於 大船学習センター第2集会室

今、湘南地区で話題の生ごみ処理機キエーロ。その考案者の松本さんのお話を中心にキエーロ愛用者小倉さん、段ボール箱で堆肥作り実践の久保さん、くらしの達人高田さん達からお話をお聞きしました。

松本さん

；私の住む葉山には焼却施設がなく、外部委託している「燃やすごみ」を減らす事が緊急課題でした。割合の多い生ごみを処理する方法として既成の物も試しましたが、臭いや害虫の発生、コストなどの面で難しく、たまたま使わなくなっていた我が家の砂場に穴を掘って生ごみを埋めたところ、ごみが早く消えることに気づきました。試行錯誤して、それを製品化し現在の形になりました。試作品が逗子市長の目にとまり、逗子、葉山、鎌倉へと広まり



今では東京江東区、埼玉、徳島、陸前高田の仮設住宅でも活躍しています。キエーロの使いやすい所は
*ランニングコストがかからない *中止や再開も自由 *投入物に制限がない（腐敗物、油、魚の骨も）

普及には、NHKテレビ放映「おはよう日本」、新聞、スーパー前での宣伝など効果がありました。

キエーロで熟成された堆肥を使った手作り野菜講座も、子育て世代に、なかなか好評でした。キエーロ使用以外にもそれぞれご自分に合った方法で焼却に出すごみを削減していただけたらと、それが私の願いです。

キエーロは、土の中のバクテリアの力でごみを分解、消滅させていく自然に適した生ごみ処理機です。



小倉さん

；葉山の友人の紹介でキエーロを使い始めました。生ごみを庭先のキエーロに埋めると土中の温度が夏には50℃超にもなり「微生物が大活躍！」と嬉しくなります。堆肥を利用した菜園も豊作で、大満足です。

久保さん

；私は段ボール箱で堆肥づくりをしています。段ボール箱にピートモスやもみ殻燻炭を入れ、そこに毎日の生ごみを混ぜ入れ、この29年間生ごみを外に排出していません。この箱は軽いので持ち運び移動も楽々です。できた堆肥を使って大根やネギや小松菜など作り、味が良いと評判です。

高田さん

；市の燃やすごみ排出量は年々増え近隣地区に比べても多いようです。その上2015年には今泉クリーンセンターでの焼却中止、名越一か所での焼却という事態を迎えますから、8千トンの焼却ごみ削減は必須と言えましょう。市からはごみ有料化の提案もされています。それで次の工夫で減らすことを考えてみました。

*食品はムダなく使い切り、生ごみは、ネットに入れてしぼり水をよく切ってだすこと

*手軽な処理として、一日の終わりに生ごみを30秒ミキサーにかけ、トロ箱等に土を入れたものに埋める方法を考え実践しています。(夏場には2日でごみはなくなりました。)

非電動型ごみ処理機の一部は市役所で直接購入もできます。また、鎌倉市は生ごみ処理機の購入費の一部を助成しています。